

# 横浜市小児がん長期フォローアップ推進事業の紹介

## 横浜市医療局がん・疾病対策課

あうたびに、あたらしい  
Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



## 横浜市小児がん長期フォローアップ推進補助 | 令和4年度新規

(目的) 横浜市小児がん連携病院が実施する

- ① 長期フォローアップの推進
- ② 長期フォローアップの実態把握と課題検討

【横浜市小児がん連携病院】  
神奈川県立こども医療センター  
横浜市立大学附属病院  
済生会横浜市南部病院

(補助額) 1病院あたり上限100万円

- ① 協力費: 30万円  
定期的な長期フォローアップ外来の実施  
長期フォローアップの実態把握(実施状況報告)
- ② 奨励費: @1万円、年間70件(70万円)上限  
長期フォローアップの実施件数に応じた補助

(実施期間)

小児がん長期フォローアップ外来に関する診療報酬上の評価または類似の制度化がされるまでの間とします。本市の財政状況、社会状況のほか事業の実施状況により見直す可能性があります。

## 事業化までの検討経緯【概要】

### 令和2年度 がん診療連携拠点病院・県指定病院等（14病院）へ調査

(質問) 小児がん患者の長期フォローアップについて、小児がんの治療を行う病院とどのように情報共有をする体制としているか

(主な回答) 必要な診療科に依頼があった場合は、症例ごとに対応しています  
→移行先への働きかけの前に、どのようなフォローを依頼したいかの把握が必要

### 令和3年度 小児がん連携病院（3病院）へ調査

(長期フォローアップ外来の実施状況)

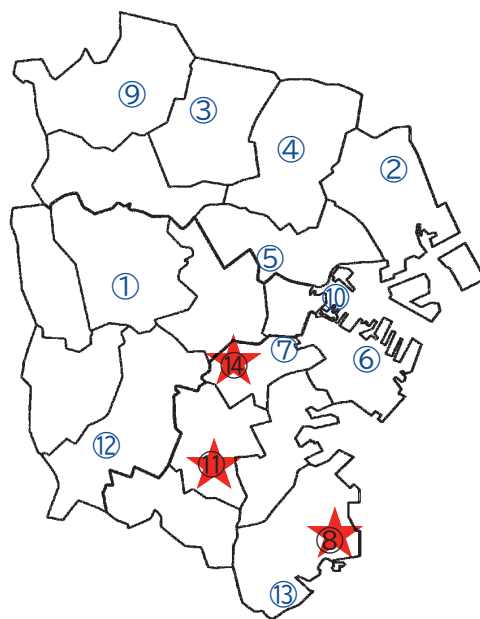
年間受診人数、内容、担当スタッフ、患者1人に要する時間、料金（保険・自費）等

→労力がかかる割に診療報酬の評価がなく、経営的な課題を把握

→補助事業により、課題把握と患者が長期フォローアップ外来でフォローを受けられる環境整備を先行

## 横浜市内 | がん診療連携拠点病院(国指定、県指定)、小児がん拠点病院

	病院名	所在区
1	神奈川県立がんセンター	旭区
2	済生会横浜市東部病院	鶴見区
3	昭和大学横浜市北部病院	都筑区
4	横浜労災病院	港北区
5	横浜市立市民病院	神奈川区
6	横浜市立みなと赤十字病院	中区
7	横浜市立大学市民総合医療センター	南区
8	<b>横浜市立大学附属病院</b>	金沢区
9	昭和大学藤が丘病院	青葉区
10	けいゆう病院	西区
11	<b>済生会横浜市南部病院</b>	港南区
12	横浜医療センター	戸塚区
13	横浜南共済病院	金沢区
14	<b>神奈川県立こども医療センター</b>	南区



## 背景・経緯

平成25年度 | 神奈川県立こども医療センターなどの小児がん診療を行う病院から横浜市へ、小児がん対策に関する提案

平成26年度 | 横浜市がん撲滅対策推進条例が議員提案により制定、施行

平成27年度 | 横浜市小児がん連携病院指定、小児がん対策について検討を開始



### 市内4病院を「小児がん連携病院」に指定します

～総合的ながん対策を始動！～

横浜市では、昨年6月、議員提案により、「横浜市がん撲滅対策推進条例」が制定され、4月からは、横浜市の医療政策を一体的かつ強力に推進していくため、医療局を設置し、総合的ながん対策を推進しています。

このたび、総合的ながん対策、第一弾の取組として、小児がん診療に実績のある4つの病院を「横浜市小児がん連携病院」と指定し、診療体制の充実や相談支援体制を構築していきます。

#### ◇横浜市小児がん連携病院（平成27年4月10日指定）

病院名	住所	代表者	備考
神奈川県立病院機構	南区六ツ川 2-138-4	総長 藤井制洋	小児専門病院
神奈川県立こども医療センター	2-138-4		厚生労働省小児がん拠点病院
社会福祉法人恩賜財団済生会 横浜市南部病院	港南区港南台 3-2-10	院長 今田敏夫	神奈川県がん診療連携指定病院
公立大学法人 横浜市立大学附属病院	金沢区福浦 3-9	院長 平原史樹	厚生労働省地域がん診療連携拠点病院
学校法人昭和大学藤が丘病院	青葉区藤が丘 1-30	院長 眞田 裕	

#### 【指定要件】

- 1 日本小児血液・がん学会認定専門医又は指導医が常勤していること  
(2020年4月までは日本小児血液がん学会暫定指導医がそれに代わることができる)
- 2 日本小児白血病・リンパ腫研究グループへの参加施設であること
- 3 原則として、年間10例以上の小児がん患者を診療していること

#### ◇小児がん連携病院の取組内容

- 1 診療の連携を円滑にすることで、小児がん診療を充実します。
- 2 関係職種研修を行い、小児がんの診療や相談を充実します。
- 3 県立こども医療センターに相談窓口を設置し、情報提供や相談支援を充実させることで、患者・家族等の不安を軽減します。
- 4 本市が行う実態調査に協力し、今後の本市の小児がん診療や相談支援に関する検討をします。

## 背景・経緯

### 平成28年度 横浜市小児がんに関するニーズ把握調査

(質問) 長期フォローアップを受ける施設の希望を教えてください。

小児がんの診療を受けた病院	90.2%
小児がんの診療を受けた病院とは別の病院	5.9%
不明	3.9%

(未回答を除く n=102)

(質問) 長期フォローアップを受ける施設の診療科の希望を教えてください。(複数回答)

小児科	68.0%
成人診療科	11.7%
その他	17.4%
不明	18.4%

(未回答を除く n=103)

## 事業化に向けた検討

令和3年度 小児がん連携病院(3病院)へアンケート調査、ヒアリング  
(質問) 長期フォローアップ外来の実施状況について教えてください

- ①長期フォローアップ外来の受診件数(年間)
  - うち造血幹細胞移植後の患者さんののべ件数
  - うち造血幹細胞移植後以外の患者さんののべ件数
- ②長期フォローアップ外来の受診実人数(年間)
  - うち造血幹細胞移植後の患者さんの実人数
  - うち造血幹細胞移植後以外の患者さんの実人数
- ③長期フォローアップの内容
- ④対応者の所属・職種
- ⑤長期フォローアップの保険適用/自費などの扱いをどのようにしているか
- ⑥長期フォローアップ外来の曜日・時間帯・枠数、一人あたりに要する時間
- ⑦その他ご意見

## 事業化に向けた検討

(調査、ヒアリングの結果)

横浜市としての【長期フォローアップ外来】の定義をどうするか →よくわからない  
横浜市として、どのような【長期フォローアップ】を推進していくのか→よくわからない

そもそも、長期フォローアップ外来とは、どのようなものなのでしょう？

疑問

- ・治療終了後5年以上経過した小児がん患者・経験者を対象とするもの
- ・10歳前後、15歳前後、18歳前後の時期などの成長の節目に受診するもの
- ・1年後、6か月後、3か月後など、定期的に受診するもの
- ・造血幹細胞移植後の長期フォローアップ
- ・二次がんや晩期合併症の早期発見のためのチェック、検査
- ・晩期合併症の経過観察、治療
- ・心理・社会的な自立支援      ・ワクチン接種・・・

# 事業化に向けた検討

(把握できたこと)

長期フォローアップとして実施している内容はさまざまである  
労力がかかる割に診療報酬の評価がなく、経営的な課題がある

(市として事業化)

①3病院での長期フォローアップ外来の継続支援

②小児がんの治療を経験した方が、成長に応じて、適切な時期に必要な医療を受けることができるようにするための課題把握

今後は・・・具体的な医療連携の方策を検討していきたいと考えています。

## 長期フォローアップ外来の例 | 済生会横浜市南部病院



来院・入院の方 済生会横浜市南部病院について 診療科・部門 **がん診療** 医療関係の方 ご寄付のお願い

ホーム > がん診療 > 小児がんの長期フォローアップ

全画面印刷 本文印刷

### がん診療

- ① 当院のがん診療体制
- ② 治療を実施しているがん
- ③ がん治療と仕事の両立支援
- ④ がんを知る
- ⑤ **小児がんの長期フォローアップ**
- ⑥ 外来化学療法のご案内
- ⑦ 緩和ケアのご案内
- ⑧ がん相談支援センター
- ⑨ がんサロン「ものもの会」
- ⑩ ピアサポート
- ⑪ 院内がん登録

## 小児がんの長期フォローアップ

### 小児がん合併症の現状

小児がんは現在、治療法の進歩によって多くの方が治療するようになってきました。一方で、がん（腫瘍）そのものによって、あるいは治療に伴う様々な影響（晩期合併症）が出てくる可能性が分かってきました。合併症には比較的早期から現れるものもあれば、何十年も経ってから生じるものもあります。

### 長期フォローアップ外来

そこで、小児科・新生児内科では、小児がんを経験された患者さんの長期フォローアップを行っています。当院で小児がんの治療を行った患者さんだけでなく、大学生や社会人になって東京・神奈川に出てきて、診てくれる病院を探しているなど、環境の変化で受診する病院を変える必要がある患者さんのフォローアップも行っています。

### 外来日

第1・第3木曜日 8:30~11:00

転居や就学、就職などで、小児がんの治療を受けた病院でのフォロー継続が難しくなった方にも受診していただけるよう、ホームページに明記しています。

# 実施状況報告書の項目

(今年度1回目の受診の状況)

- ・長期フォローアップ外来orその他外来(診療科)
- ・受診日
- ・受診日時点年齢
- ・フォローアップレベル
- ・晩期合併症の有無
- ・造血幹細胞移植後患者指導管理料算定の有無
- ・フォローの目的・内容
- ・受診日間隔

(2回目の受診の状況)・・・

(基本情報)

- ・在住区(市外の別)、性別
- ・種別、原病疾患名
- ・原発部位、転移
- ・原病診断日
- ・原病診断時の年齢
- ・原病治療が自院か否か
- ・手術部位・抗がん投与歴・放射線治療歴
- ・移植歴
- ・積極的治療終了日
- ・原病発症日から積極的治療終了日の期間  
ほか

ご清聴ありがとうございました。  
ご助言いただけますと幸いです。

横浜市医療局がん・疾病対策課  
ir-gantaisaku@city.yokohama.jp